

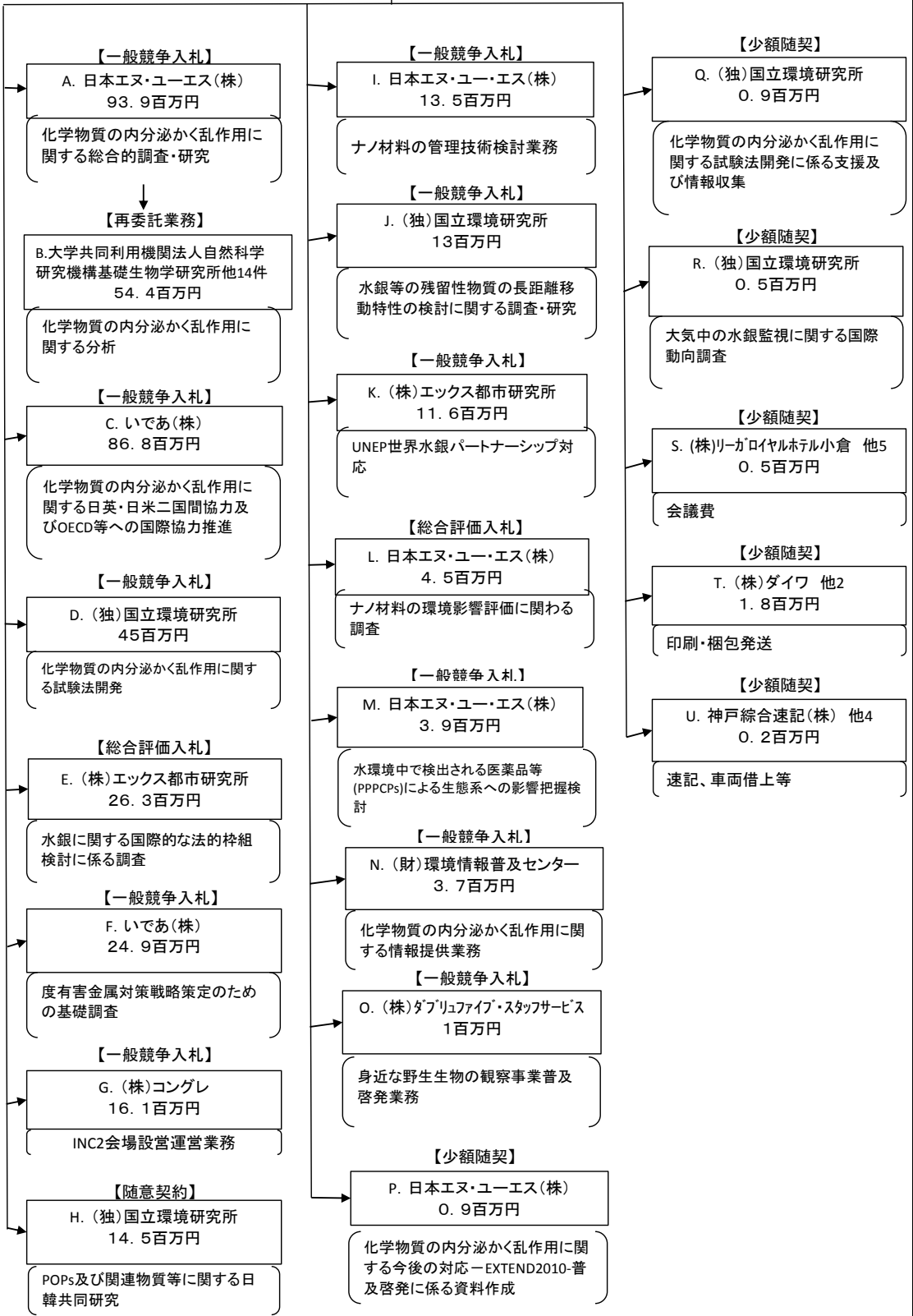
平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	環境汚染等健康影響基礎調査費		事業開始年度	環境保健部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度～		担当課室	環境安全課		早水 輝好		
会計区分	一般会計		施策名	6-1環境リスクの評価 6-2環境リスクの管理 6-3リスクコミュニケーションの推進 6-4国際協調による取組 9-3環境問題に関する調査・研究・技術開発				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	環境基本計画				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<ul style="list-style-type: none"> 科学的に未解明な点が多い化学物質の内分泌かく乱作用について調査研究を実施し、各化学物質が人の健康や生態系に及ぼす影響について明らかにし、リスク評価を実施するとともに一般に適切な情報提供を行う。 水銀、カドミウム、鉛等の有害金属類に係る取組や国際的な水銀規制に関する条約の制定を推進する。 近年技術開発が進むナノ材料の環境影響を未然に防ぐための取組や情報収集を進める。 							
事業概要(5行程度以内。別添可)	<ol style="list-style-type: none"> 化学物質の内分泌かく乱作用 <ul style="list-style-type: none"> 専門家による助言組織を設置した上で、野生生物の生物学的知見研究、基盤的研究、試験法開発、リスクコミュニケーション等各種の取り組みを実施する。 水銀規制に関する条約制定推進 <ul style="list-style-type: none"> 国際的な議論が進められている水銀規制のための条約制定に向けた我が国の戦略策定を推進するとともに、水俣病経験国として、条約制定に向けた議論に貢献する。 ナノ材料 <ul style="list-style-type: none"> 人や動植物への影響が懸念されているナノ材料の環境安全性に係る知見を整備するとともに、その特性を踏まえた上で、ナノ材料の管理技術及びリスク評価手法の確立に関する検討を行う。 							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	537	339	347	498	422	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	537	339	347	498	422	
	執行額	519	336	365				
執行率(%)	97%	99%	105%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	当事業は、水銀規制条約に係る国際交渉のための情報収集等や化学物質の内分泌かく乱作用等についての情報収集・研究等を横断的に行うものであるため、数値化した成果目標を設定し、評価することは困難。			達成度	%			
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		活動実績(当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	当事業は、水銀規制条約に係る国際交渉のための情報収集等や化学物質の内分泌かく乱作用等についての情報収集・研究等を横断的に行うものであるため、数値化した成果目標を設定し、評価することは困難。							() ()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	環境保全諸謝金	0.4	0.4	水銀規制条約の採択を行う外交会議の我が国開催(2013年後半)が決定され、その準備のための旅費を新たに要求したため。 調査研究を縮減するとともに、各化学物質の試験及び評価について、年間に実施する件数を減らし先送りすることにより来年度予算を減額した。				
	環境保全職員旅費	0	1.5					
	環境保全委員等旅費	0.3	0.3					
	公害調査費	452.3	375.0					
	経済協力開発機構等拠出金	44.5	44.5					
	計	497.5	421.7					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目 状 況 ・ 予 算 の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資 金 の 流 れ 、 費 目 ・ 使 途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活 動 実 績 、 成 果 実 績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点 検 結 果		<p>1. 化学物質の内分泌かく乱作用 化学物質の内分泌系かく乱作用については、これまでに開発した試験法がOECDでテストガイドライン化される等、一定の成果は上げられているが、個別の物質の試験の実施や評価は進んでおらず、今後は加速化して試験及び評価を進める必要がある。</p> <p>2. 水銀規制に関する条約制定推進 平成23年1月に我が国で開催された第2回政府間交渉委員会において、条約の採択・署名のために平成25年後半に開催予定の外交会議の我が国開催が了承された。これを踏まえ、外交会議の開催準備が必要であるとともに、条約交渉に関する我が国の対応策等の検討や、そのための科学的知見の蓄積を継続していくことが必要である。</p> <p>3. ナノ材料 ナノ材料の測定方法や管理技術の有効性については未確定な部分が多いことから、これらの課題の解決に取り組みつつ、予防的な観点からの対応を進めていく必要がある。なお、ナノ材料に関する取組は関係省庁と分担・連携して効率的に進めており、環境省は主に環境中への排出防止や動植物への影響の防止観点から取り組んでいる。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
一 部 改 善		複数年度に渡り実施していることから、事業内容を精査すること等により、予算額の節減に努めるべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮 減		人件費、消耗品費等を見直すことにより、概算要求額を減額。	
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

環境省
365百万円

環境汚染等健康影響基礎調査



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かる
 ように記載)

A.日本エヌ・ユーエス(株)			E.(株)エックス都市研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	化学物質の内分泌かく乱作用に関する総合的調査・研究	93.9	雑役務費	水銀に関する国際的な法的枠組みの検討に係る調査	26.3
計		93.9	計		26.3
B.大学共同利用機関法人 自然科学研究機構基礎生物学研究所			F.いであ(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外注費	トキシコゲノミクスを応用した化学物質の内分泌かく乱作用スクリーニング手法の開発	5.5	雑役務費	有害金属対策戦略策定のための基礎調査	24.9
計		5.5	計		24.9
C.いであ(株)			G.(株)コングレ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	化学物質の内分泌かく乱作用に関する日英・日米二国間協力及びOECD等への国際協力推進	86.8	雑役務費	INC2会場設営運営業務	16.1
計		86.8	計		16.1
D.(独)国立環境研究所			H.(独)国立環境研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	化学物質の内分泌かく乱作用に関する試験法開発	45.0	雑役務費	POPs及び関連物質等に関する日韓共同研究	14.5
計		45.0	計		14.5

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

I.日本エヌ・ユー・エス(株)			M.日本エヌ・ユー・エス(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ナノ材料の管理技術検討業務	13.5	雑役務費	水環境中で検出される医薬品等(PPCPs)による生態系への影響把握検討	3.9
計		13.5	計		3.9
J.日本エヌ・ユー・エス(株)			N.(財)環境情報普及センター		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	水銀等の残留性物質の長距離移動特性の検討に関する調査・研究	13.0	雑役務費	化学物質の内分泌かく乱作用に関する情報提供業務	3.7
計		13.0	計		3.7
K.(株)エックス都市研究所			O.(株)ダブリュファイブ・スタッフサービス		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	UNEP世界水銀パートナーシップ対応業務	11.6	雑役務費	身近な野生生物の観察事業普及啓発	1.0
計		11.6	計		1.0
L.日本エヌ・ユー・エス(株)			P.日本エヌ・ユー・エス(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ナノ材料の環境影響評価に関わる調査	4.5	雑役務費	-EXTEND2010-普及啓発に係る資料作成	0.9
計		4.5	計		0.9

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

Q.(独)国立環境研究所			U.神戸総合速記(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	化学物質の内分泌かく乱作用に関する試験法開発に係る支援及び情報収集	0.9	雑役務費	速記	0.1
計		0.9	計		0.1
R.(独)国立環境研究所			V.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	大気中の水銀監視に関する国際動向調査	0.5	雑役務費		
計		0.5	計		0.0
S.(株)リーガロイヤルホテル小倉			W.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	日韓共同研究レセプション	0.2	雑役務費		
計		0.2	計		0.0
T.(株)ダイワ			X.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	水俣病の教訓と水銀対策への取組(和文英文)印刷	1.3	雑役務費		
計		1.3	計		0.0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	日本エヌ・ユー・エス(株)	化学物質の内分泌かく乱作用に関する総合的調査・研究	93.9	1	79%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.外注費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構基礎 生物学研究所	トキシコゲノミクスを応用した化学物質の内分泌かく乱作用スクリー ニング手法の開発	5.5	随意契約	-
2	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構基礎 生物学研究所	ミジンコにおける内分泌かく乱作用メカニズムの解析	5.0	随意契約	-
3	国立大学法人 東京大学	化学物質誘発性のエピジェネティック修飾によるDOHaDモデルの検	5.0	随意契約	-
4	国立大学法人 岡山大学	底生甲殻類の成長や成熟に見られる異常のスクリーニングと環境の 影響評価に関する研究	4.9	随意契約	-
5	国立大学法人 北海道大	海産無脊椎動物ホヤのトキシコゲノミクス基盤研究	4.0	随意契約	-
6	学校法人 酪農学園大学	易代謝性化学物質の体内動態と次世代への影響に関する研究	4.0	随意契約	-
7	国立大学法人 鹿児島大	海底質中エストロゲン様物質経路のばく露とそのリスク評価	3.9	随意契約	-
8	国立大学法人 群馬大学 大学院医学系研究科	多動性に関わる内分泌系因子の同定とかく乱物質の影響に関する 研究	3.9	随意契約	-
9	静岡県立大学環境科学 研究所	魚類生殖能を指標とした化学物質の内分泌かく乱作用機構に関する 研究	3.9	随意契約	-
10	公立大学法人 熊本県立 大学	無脊椎動物(アミ類)における生殖・発生異常とその発生メカニズム	3.0	随意契約	-

C.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	いであ(株)	化学物質の内分泌かく乱作用に関する日英・日米二国間協力及び OECD等への国際協力推進	86.8	1	89%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	化学物質の内分泌かく乱作用に関する試験法開発	45	1	88%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(株)エックス都市研究所	水銀に関する国際的な法的枠組みの検討に係る調査	26.3	1	95%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

F.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	いであ(株)	有害金属対策戦略策定のための基礎調査	24.9	1	96%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

G.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(株)コングレ	INC2会場設営運営業務	16.1	2	95%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

H.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	POPs及び関連物質等に関する日韓共同研究	14.5	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

I.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	日本エヌ・ユー・エス(株)	ナノ材料の管理技術検討業務	13.5	1	96%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

J.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	水銀等の残留性物質の長距離移動特性の検討に関する調査・研究	13	1	98%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

K.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(株)エックス都市研究所	UNEP世界水銀パートナーシップ対応	11.6	1	83%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

L.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	日本エヌ・ユー・エス(株)	ナノ材料の環境影響評価に関わる調査	4.5	3	52%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

M.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	日本エヌ・ユー・エス(株)	水環境中で検出される医薬品等(PPCPs)による生態系への影響把握検討	3.9	3	44%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

N.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(財)環境情報普及センター	化学物質の内分泌かく乱作用に関する情報提供	3.7	1	92%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

O.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(株)ダブリュファイブ・スタッフサービス	身近な野生生物の観察事業普及啓発	1	4	40%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

P.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本エヌ・ユー・エス(株)	化学物質の内分泌かく乱作用に関する今後の対応-EXTEND2010-普及啓発に係る資料作成	0.9	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

Q.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	化学物質の内分泌かく乱作用に関する試験法開発に係る支援及び情報収集	0.9	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

R.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	大気中の水銀監視に関する国際動向調査	0.5	随意契約	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

S.会議費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)リーガロイヤルホテル小倉	日韓共同研究レセプション	0.2	随意契約	-
2	学士会館	OECD Fish Drafting Group会議レセプション	0.1	随意契約	-
3	(株)東京會館	日米二国間会議レセプション	0.1	随意契約	-
4	寿し処有村	UNEP化学物質部長水俣C所長懇談会	0.04	随意契約	-
5	(株)レバスト	化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会会議費	0.01	随意契約	-
6	太田コーヒー(株)	化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会会議費	0.01	随意契約	-
7					
8					
9					
10					

T.印刷等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ダイワ	水俣病の教訓と水銀対策への取組(和文英文)印刷	1.3	随意契約	-
2	新生社	EXTEND2010(和文英文)印刷	0.5	随意契約	-
3	中央梱包(株)	EXTEND2010梱包発送	0.02	随意契約	-
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

U.速記等

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	神戸綜合速記(株)	会議速記	0.1	随意契約	-
2	千鳥ハイヤー	ジャンボタクシー借り上げ	0.04	随意契約	-
3	個人A	会議参加費	0.04	随意契約	-
4	個人B	会議参加費	0.01	随意契約	-
5	NTTコミュニケーションズ(株)	電話会議使用料	0.01	随意契約	-
6					
7					
8					
9					
10					